

柏原地域密着型高齢者施設太寿（特養・グループホーム）

第36回（通算回数）運営推進会議記録

開催日時 平成29年9月12日（火）AM10時30分～11時30分

開催場所 柏原地域密着型高齢者施設 太寿 1F 地域交流スペース

【構成メンバー】

入居者 2名（特養・グループホーム） 地域住民代表者（地区福祉委員）3名
入居者家族 2名（特養・グループホーム） 柏原包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 3名（常務理事兼施設長・太寿副施設長・グループホーム管理者）
構成メンバー総数 13名

【当日参加者】

入居者 0名 地域住民代表者（地区福祉委員）2名
入居者家族 1名（特養） 柏原市包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 5名（常務理事兼施設長・柏原寿光園副施設長・太寿副施設長
GH管理者・GH計画作成担当者）
出席者総数 11名

【議題・式次第等】

1. 開会挨拶（施設長）
2. 前回の懸案事項の回答・報告
3. 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
4. グループホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
（現時点の入居者数・待機者数・介護度別年齢別入居者等の状況説明等）
5. その他

1 開会挨拶（森田常務理事兼施設長）

本日は足元の悪い中お越しいただきまして、誠にありがとうございます。法人内の異動で、9月からグループホームの管理者が変わり、今回が新管理者にとっては初めての運営推進会議となりますので、ご紹介いたします。

いつものように、議案ご審議の程、どうぞよろしくお願いいたします。

2 前回の懸案事項の回答・報告

特にございません。

③ 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告(別紙により報告) 特養担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

◇9月11日の時点で、申込受付数は「26件」です。前回の会議時より5件減少しました。

↓

男女別の内訳で見ると、男性の方が多くなっています。しかも、「要介護3」の男性の数が突出して多くなっています。その背景としては、居室設定の関係もあって男性はどこの特養でも受け入れ実績が少ない傾向にあります。要介護5或いは4の方と比べると要介護3の方は優先度も低いと判定されることから、複数申し込んでもなかなか入居にはつながらないのではないかと考えられます。

◇その他、特養入居へのニーズが減少していることは、前回の会議でも報告した状況と変わりありません。従来のやり方を継続していけば、先行きは明るい見通しが立ちにくいと予測されます。

→社会福祉法人寿光会の中には八尾・柏原で特養が4拠点ありますが、単体では厳しくなっている現状を踏まえ、法人単位で取り組むスケールメリットを活かす方策について検討を進めていく予定です。

◇「地域包括ランチ窓口」としての相談についてはこれまでと大きく変わらず、数は多くは無いですが、電話や窓口で対応しております。

【入居者様の状況】

◇7月以降、3名の方がいずれもご逝去により退居となりました。

- ・3階西ユニット 97歳・女性 7月退居
- ・2階東ユニット 96歳・女性 7/月退居
- ・3階西ユニット 86歳・女性 9月退居

退居された3名の方はいずれも開設初年度にご入居いただいた、いわゆる「初期メンバー」になります。時の流れを感じ、寂しい気持ちもありますが、それ以上にこれまで太寿の歴史に花を添えていただいたことに、感謝の気持ちがいっぱいです。

◇選考会の結果、下記の方を選考し、ご入居いただきました。

- ・3階西ユニット 84歳・女性 8/5ご入居
- ・2階東ユニット 86歳・女性 8/1ご入居

8月初旬に2名の方にご入居いただきました。1カ月ほど経過し、ユニットの雰囲気にも馴染んで来られ、ご両名共に安定して過ごされています。3階西ユニットのもう1名女性の方も選考し、近日中にご入居となる予定です。

【最近の取り組み】

[この間に開催したボランティア様によるイベント]

二胡演奏会・いきいき歌体操・コーラスの会・夏のお茶会・お話の会
けん玉・ギター演奏・紙芝居&手遊び・手品・コーラスと日本舞踊・ちぎり絵製作会
アニマルセラピー・音楽あそび・傾聴ボランティア 等々

- ◇7月に10回、8月に8回のボランティア様によるイベントが開催されました。
- ◇イベントへの参加は強制ではなく、もちろん自由です。参加される人数はイベントの内容により様々で、4~5名の少人数の時から30名くらいの大規模になることもあります。
- ◇地域密着型の施設として、地域の方とのつながりの機会でもあるボランティア様の訪問、太寿ではとても大切にしています。ボランティア様自身にもやりがいをもって活動していただけるよう、スタッフも一緒に参加して楽しむようにしています。
- ◇7月16日、太平寺地区の夏祭りで、地域の皆様のご好意で、今年も太寿に「ふとん太鼓」がやってきました！巡行ルートに入れて下さっているようで、とても感謝しております！立派なふとん太鼓と若者の威勢の良さに、入居の皆様もとても喜んでおられました。
- ◇施設内行事委員会の企画で、8月5日に「手作り会」を開催しました。プラ板に色を塗り、オリジナルのキーホルダーを入居者様・家族様と一緒に製作しました。また、こども食堂のメンバーにも声をかけ、10名ほどの子供達が参加してくれました！子供達の製作に取り組む姿を入居者様が微笑ましく眺めておられ、とても良い雰囲気のひとつになりました。
- ◇こども食堂&学習支援は、毎週木曜日の開催も定着してきました。平均すると15~20名の子供達が参加し、地域の皆様の支援を得ながら実施が継続できています。課題は多々ありますが、運営については軌道にのっていると思います。当法人の社会貢献の一環として、今後も地道に活動を継続していきます。

※こども食堂&学習支援（毎月第2・4木曜日、17時半~20時）

※学習支援（毎月第1・3木曜日、17時半~20時）

4 グループホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告

※グループホーム担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

9月12日の段階で、待機登録者は「2名」です。

【入居者様の状況】

◇前回会議以降入退居事例は無く、同じ顔ぶれで過ごしていただいております。

◇男性入居者1名が急激な体調悪化により、9月6日より医療機関に入院されています。検査・治療を受けておられ、少しずつ回復の兆しが見られる状況です。

【最近の取り組み】

◇7月25日 女性入居者の誕生日会を行いました。

◇暑さの厳しい8月中は外に出かけることができなかったので、太寿館内ユニット巡りを中心に散歩しました。掲示物や手作りの飾り物を見て楽しまれていました。

◇9月に入り、朝・夕が涼しくなってきたので、屋上や玄関外などに散歩に出るようになりました。今後、買い物をはじめとした外出も予定しています。

【今後の取り組み】

◇9月に誕生日会を開催する予定です。

◇季節の変わり目で少しずつ衣類の交換をしていき、体調管理に気をつけていきます。

5 その他

要望・助言内容（主な事柄のみ掲載）

◇**特養・家族代表**・・・

特養の報告の中で「こども食堂」に関する報告がありましたが、参加する子供はどのように募集されているのですか？

→（特養担当者）

近年、全国的に子供食堂は増えてきており、運営の仕方・子供さんへの呼びかけ方等についてはその食堂によって様々です。“太寿こども食堂”では、子供達を広く募る「オープン型」ではなく、参加者を限定した形の「クローズ型」で運営をしております。我々だけでは子供達とのマッチングが難しいので、柏原市の生活支援係や教育委員会等の協力をいただきながら、支援の必要な家庭にご案内しております。会場のキャパシティとの兼ね合いもありますので、現状としては参加者 15～20 名くらいまでの定員で考えております。

◇**地域住民代表者**・・・

特養の入居申し込み状況に関する説明の中で「要介護 3 の方の入居実現が難しい」と報告がありましたが、要介護度の分類の基準や、特養の入居選考にどのように関わってくるのかを教えてくださいませんか？

→（特養担当者）

要介護度というのは、その方の心身の状況により、日常生活を営むのにどの程度支援・介助が必要なのかを判定し、介護の必要度（量・時間）の多い方から順に「要介護 5・4・3・・・」と区分されます。判定の基準となるのは調査員による聞き取り調査と主治医の意見書がベースとなり、審査会を経て正式に認定されます。

入居選考に関しては厚生労働省の指針に基づき、「優先入居システム」を採用しております。入居選考については受け付け順ではなく、要介護度や年齢、その他個別状況を全て数値化して、合計点数の高い方がより優先度が高いと判定される仕組みになっております。介護度の占める比重が高いことから、「5」「4」の方が待機順位の上位にランクされやすく、要介護度 3 の方の選考の可能性が低くなっているのが実情です。

◇**柏原市職員**・・・

介護職員の離職率が高いことや新規採用に困っているところが多い、と世間ではよく言われていますが、太寿さんでは実際のところはいかがですか？

→（特養担当者）

特養・ショート事業につきましては、昨年・今年と比較的離職が少なく、同じ顔ぶれでの人員配置が継続できています。ただ、腰痛や持病等を持っているスタッフも多く、欠員が出た場合の対応に苦慮している状況でもあります。新規採用の見通しは厳しいので、なんとか現在のスタッフによる人員配置が継続されることを祈っているところです。

◇柏原社協CSW堅下地区担当・・・

太寿さんの中で災害対策はどのように取り組まれていますか？また、災害発生時に避難所として開放されることもあるのでしょうか？

→（柏原寿光園副施設長）

火災につきましては、要介護状態の高齢者が暮らす施設であることから、まずは「火災をおこさないこと」を徹底して対応しています。また、消防署署員と共に消防訓練を実施し、指導・助言をいただいて有事の際の適切な対応につなげるべく取り組んでおります。

→（特養担当者）

柏原市のハザードマップによると、太寿の立地環境としては土砂災害の危険性は低いですが、洪水になった場合は、1階部分が全て浸水して危険な状況になります。大雨の時は情報を的確に把握することに努め、危険水域に達する前に1階の入居者を上の階に避難することにしています。地震については予測の難しいところですが、鉄筋コンクリートの建物で倒壊のリスクは低いことから、慌てて動き回らず、その場で入居者の身の安全確保に努めるようにスタッフには指導しています。

災害発生時の避難所としての役割ですが、地域包括ランチの会議でも検討したことはありますが、現在のところ組織だって取り組む仕組みはありません。しかし、有事の際は柏原市とも連携を図りながら、施設機能の開放や地域への人的支援などを状況に合わせて柔軟に対応していきたいと考えています。

◇柏原市包括支援センター職員・・・

去る9月3日に柏原社協にて「ボランティア展」が開催されました。そのイベントには太寿に来られているボランティア様も多数来られていましたが、「太寿さんでの活動、みなさん盛り上げてくれてとても楽しいんです！」と仰っておられる方が多かったです。いい雰囲気でもてなして下さって、とても素晴らしいことだと感じました。

→（特養担当者）

ありがとうございます！お世話になっているボランティアの皆様にもそのように言っていただけて、我々としてもものすごく嬉しいです。入居者様にとってもボランティア様にとっても、太寿での活動がハッピーになっていけるように、我々スタッフも一緒に楽しみたいですね！

※次回の運営推進会議は、「11月14日（火）午前10時30分～」の予定です。